

平成27年度第2回佐久市総合計画審議会第1部会 議事録

日 時:平成27年9月15日(火)

15:00~17:00

場 所:佐久市役所 6階

602会議室

【出席者】油井部会長、大池副部会長、清水委員、土屋委員、武者委員、
上原委員、美齊津委員、

【事務局】佐藤企画課長、若林課長補佐(企画調整係長)、小林、大井

1 開会

2 部会長挨拶

3 自己紹介

4 議 事

(1)「市民アンケート結果の推移」の検討について

(2)「目標」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

- ・事務局より、審議の進め方及び審議資料の見方について説明。

(資料1、資料2-1)

- ・事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第1章・第6章に掲げられた「アンケート結果」、「目標」について施策毎に説明。その後、部会において審議。

(資料2-2)

ア 資料の見方に関する質問・意見

なし

イ 第1章 質問・意見

(部会長)	資料2-2P1 施策名:文化・芸術 文化事業を実施するものへの補助制度というのは具体的にはどのようなものですか。
(事務局)	芸術文化活動事業補助金は、市民の皆さんが演奏家を呼んで演奏会などを行う時に補助する事業です。

<p>(委員)</p>	<p>平成26年は中込学校が修理のため、数字が入っていないということであれば、中込学校を抜いた数字で比較しなければ増えているのか、減っているのかわからないと思います。それと、疑問なのは、計画を作った翌年かなり減っているため、以前から減少傾向にあったのではと感じてしまいます。目標の設定は議論する場ではないと思いますが、目標設定に問題があるのではないかと思います。結果の分析としても減少傾向は継続しているとなっておりますが、これでは分析になっていないと考えます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>担当課に確認し、利用者数の推移は施設ごとに次回報告するよういたします。目標値の設定については、今後第二次の総合計画を作る際にご審議いただきたいと思います。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>施設ごとのPRの方法も今後の方針として考えていただきたいと思います。次回、利用者数の内容を確認することで次に進みたいと思います。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>少年考古学教室について、体験作業は当初もっと参加者を予定していたのですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>体験作業をできる現場が、工事等の都合により確保できず、参加者数が多い体験型の教室が開催できなかったため減少したとのことです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>体験作業は実際の工事現場で行うのでしょうか。それは、問題はないのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>詳しい作業方法は、担当課に確認して次回報告いたします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>やり方など工夫が必要と考えます。時間や内容など、アンケートで参加者の声を聞くのも良いと思います。参加しやすいやり方もあるのではないのでしょうか。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>アンケートを行うなど、ニーズを踏まえて今後の事業に取り組んでいただくということでお願いします。</p>

	資料 2-2 P 2 施策名：地域間交流・国際交流
(委員)	国際交流フェスティバルでは、ポスターやチラシで広報に努めたとの事ですが、それだけでは参加者を増やすというのはなかなか難しいと思います。口伝えなど、何かほかの方法も考えないと確実に来てもらえないと思います。難しいと思いますが何か良い方法を検討していただきたいと思います。
(事務局)	周知の仕方等は検討が必要かと思います。
(委員)	外国人登録者数自体が減っているのではないのでしょうか。そのような影響も考えた方が良くと思います。リーマンショックなどの影響もあるのではないかと思います。
(事務局)	国際交流フェスティバルは、市民の皆さんに外国の方と交流を深めてもらうものですので、PRが今後も必要となるかと思います。また、国際交流サロンは、外国の方が中心に参加するということですので、そういった影響もあるかと思います。
(部会長)	駐車場の確保が少なく参加者が下回ったという分析は適切でしょうか。平成25年度は野沢会館で、平成26年度はあいとびあにして増えています。分析をやり直した方が良くと思います。
(事務局)	担当課と調整いたします。
(委員)	アンケート結果については、移住交流推進事業について答えており、施策には、移住交流推進事業という記載がありません。全体の結果分析になっていない気がします。
(事務局)	現在、移住交流推進事業として、定住人口の増加を目的とした空き家バンク事業があるためこのような記載になっています。特に、交流人口を増やし、定住人口も増やしていくため、空き家バンクに力を入れている中での分析ということで、このような記載となっています。
(委員)	空き家の数の確保はできているのでしょうか。住めない空き家も多くあると思いますが。

(事務局)	担当課で調査をしながら使えるものの確保を行っております。
(部会長)	話しが戻りますが、アンケート結果については、このまま空き家バンク事業のものに絞ったもので良いでしょうか。地域間交流・国際交流にも触れた形にできないでしょうか。
(事務局)	担当課と調整いたします。
(部会長)	次回までに回答ということをお願いします。
	資料 2-2P 3 施策名：人権尊重社会
(委員)	アンケート結果を見ますと、重要度が低く、人権意識の低下しているのではとの分析となっていますが、本当にそうなのでしょうか。市民が重要とあまり感じていないものを、無理に理由をつけて上げる必要があるのかと思います。
(事務局)	担当課としては意識を上げたいイコール重要度を上げるとの考えとなっています。本来は、満足度を上げることが重要であると考えますが、担当課としては意識の高揚を図るという目標があるため、重要度を上げる必要があると考えております。分析については、担当課に再度確認をします。
(部会長)	重要度が高い・低い、満足度が高い・低いに関連性は難しい部分があると思います。しかし、人権意識は重要だと思いますので、今後も取り組んでいていただきたいと思います。
	資料 2-2P 6 施策名：学校教育
(委員)	結果の分析において、不登校等対策連絡協議会の開催や、提言があったとの事ですが、小中学校で一緒のことをやっているのではないのでしょうか。
(事務局)	一緒になります。
(委員)	同じ取組をしているのに、小学校では評価が「遅れている」、中学校では「順調」と分かれてしまうのは、説明しづらいのではないのでしょうか。

(事務局)	それぞれ、最初の目標値の設定の仕方、効果の出方などによりそのような結果となっています。いずれにしても、減少傾向を目指すことが前提ですので、施策の効果が出始めたと考えています。
(委員)	目標の設定は、慎重にやるべきだと感じます。
(部会長)	順調だからと言ってそのまま良いというものではないと思います。より努力をしていただくということによろしいでしょうか。
(部会長)	資料 2-2P 6 施策名：高校教育・高等教育 奨学金貸与者が増えた場合どうなるのでしょうか。
(事務局)	基金を使って貸しています。あまり貸与人数が多くなれば基金が足りなくなることもあるかとは思いますが、現在はそのような状況ではありません。
(委員)	資料 2-2P 7 施策名：青少年健全育成 アンケートの重要度の捉え方が難しいと感じます。
(事務局)	重要度の捉え方は非常に難しく、施策が浸透すればするほどあたりまえになり、重要度が下がるということも考えられます。
(部会長)	そうであっても、重要であると感じてもらった方が良いのではないのでしょうか。
(委員)	重要度が高いから低いになってしまったというのは分析として適当でしょうか。満足度と重要度から結果分析をするのであり、重要度が高い・低いで見るとはしないのではないかと思います。
(事務局)	エリア分けで見てしまっており、そのような記載になっていますので、担当課と調整いたします。
(部会長)	そのようにお願いします。

	資料 2-2P 8 名：生涯学習
(委員)	生涯学習のイベントについて、参加者数が反動減というのはあるのでしょうか。
(事務局)	経年の変化のみの分析となっており、目安値と実績値の分析になっておりませんので、担当課と調整いたします。
(部会長)	そちらは対応していただくということで、他はこの内容で取り組んでいただくということでよろしいですね。
	資料 2-2P 9 施策名：スポーツ
(委員)	天候に左右されるのは仕方ないと思いますが、ニーズに合った事業というのが重要だと思います。
(委員)	指導者が少なくなってきていますので、指導者育成の視点も取り入れて欲しいと思います。
(事務局)	いただいたご意見は担当課に伝えさせていただきます。
(部会長)	今のご意見を踏まえ、取組を進めていただきたいと思います。

(2) 「チャレンジ！！」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

※時間となったため次回説明、審議とする。

(3) その他

・次回会議の日程について連絡

次回は

・残りの項目（第1章チャレンジと第6章）については、次回の部会にて審議する。

6 閉 会